

## 中国地区 内航海運懇談会

若年船員の希望に応え定着率を改善したい

10月31日、海員組合中・四国地方支部会議室で中国地区内航海運懇談会を開催し、内航船社7社、船員教育機関5校、中国地方海運組合連合会、広島県内航海運組合、中国運輸局、本組合からは平岡英彦中央執行委員をはじめ中・四国地方支部管内執行部、合わせて33人が出席した。

開会にあたり、主催者を代表して除補修中・四国地方支部長が「本懇談会では、当地区における諸問題について、それぞれの立場から多角的な意見交換を行い解決に向けた共通認識を図りたい」とあいさつした後、本組合を代表し平岡中央執行委員が「内航海運業界においては、定着率の改善が必要不可欠である。また、教員不足の問題も深刻化しており、本日はこのような諸問題について、意見交換を行い、今後の課題解決に向けた活動につなげていきたい」とあいさつした。

次に岡本信也中国地方海運組合連合会会長と竹谷浩国土交通省中国運輸局海事振興部部長があいさつし議事に入り、内航海運各社と各船員教育機関から現状報告が行われ、意見交換を行った。

### 各社からの主な意見・要望

▽会社と学生が対話できる機会が少なく、運輸局には学生と直接話ができる場を増やして欲しい。

▽船員不足解消のため、未経験者の採用も積極的に行い、免状取得をさせている。

▽若年船員の希望に応えることで定着率を上昇させ、船員の育成に努めていきたい。

### 船員教育機関の意見・要望

▽一般的に船員職業の認知度は低く、改善するためにも、学生に対して船員という職業を広める活動が必要である。▽船員職業への関心を持ってもらうためにも、早期に小学生を対象とした啓発やイベントなど、さまざまな取り組みが必要である。

中国運輸局からは「中国運輸局の船員政策」について、船員の求人・求職状況と雇用促進の取り組みが報告された。

組合からは、各地区での体験乗船や若年船員の確保・育成への取り組みについて報告し、意見交換の中で共通認識を図った。

最後に、海運業界が抱える諸課題に対し、官学労使が協力して取り組むことを確認し、中国地区内航海運懇談会を終了した。

「海員だより」